

嘔吐物処理マニュアル

福井県立盲学校

おう吐物の基本的な考え方

- ① 一般的におう吐物は「汚いもの」ではなく、「感染リスクが高いもの」として取り扱う。
- ② キットを予め用意しておき、緊急時にはチームで対処するようにする。
- ③ チームは3名（1名は処理用着衣を着て、処理にあたる。1名はおう吐物などの処理キットを運び、消毒液の準備やゴミ袋などの準備にあたる。1名はおう吐した児童生徒の対応）

おう吐物処理の前に

- ① おう吐した児童生徒は児童生徒対応の先生と一緒に保健室へ。
(携帯用エチケット袋を持たせて)
- ② 他の児童生徒をその場から遠ざける。
- ③ 教室などは、その当日は使用しない方が望ましい。
- ④ 換気をする。(廊下側の窓は開けないこと)

準備（おう吐物などの処理キットを運んだ後）

- ① 処理にあたる人は、装飾品（指輪・時計など）を外す。
- ② 感染防止用品の着用 帽子、手袋（2枚重ね）、マスク、ガウン、
(裏面を参考に!) シューズカバーを着用する。
- ③ ゴミ袋の準備 一次回収袋、二次回収袋の口を開けて用意する。
- ④ 消毒液の準備

専用ボトルに水を2L入れ、次亜パウダーを溶かして作る。2本準備



+



※消毒液が足りない場合、2Lペットボトルの水に、塩素系漂白剤をハイター
カップ2杯(40ml)を入れて作る。

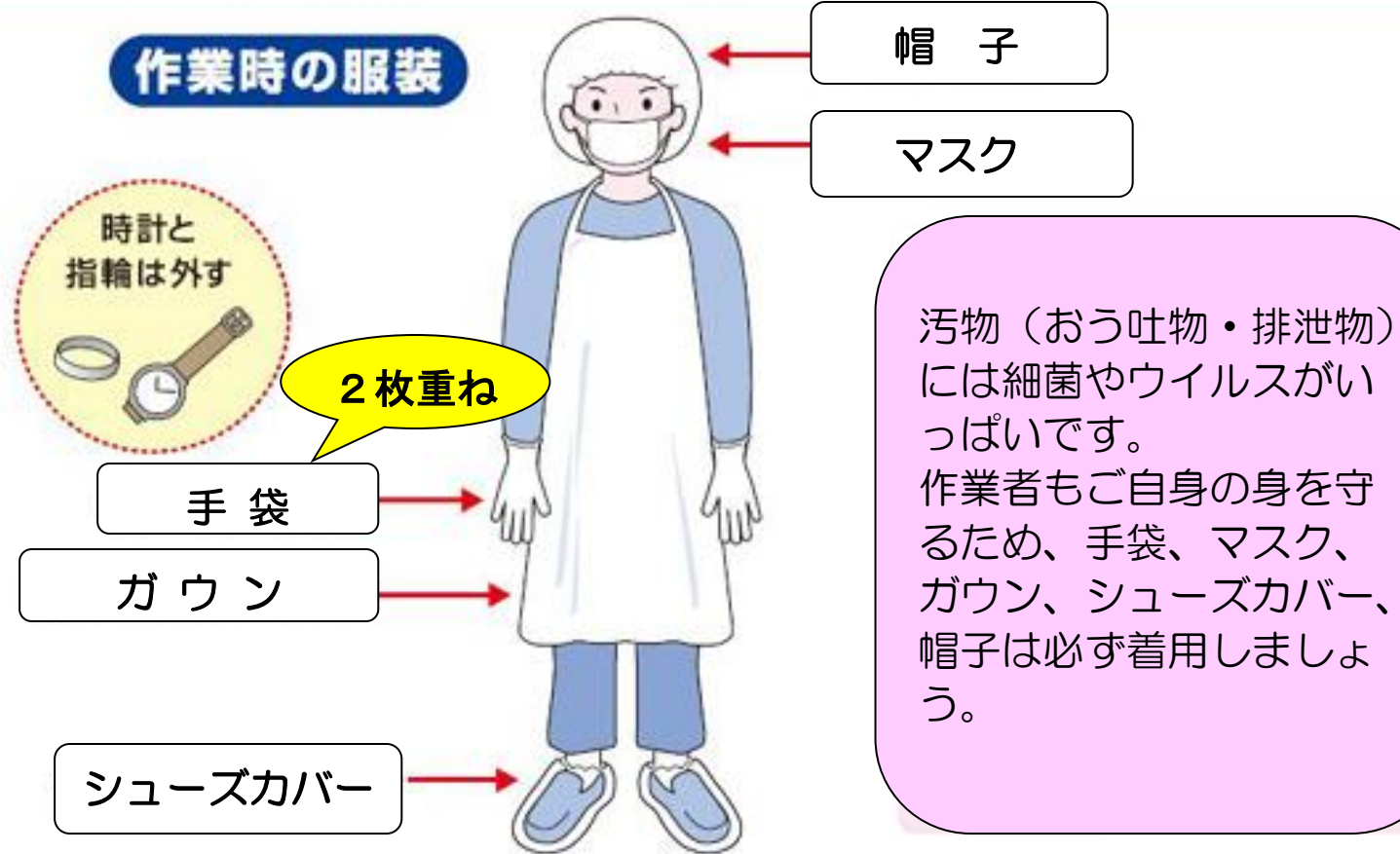
感染防止用品の着用

帽子
手袋（2枚重ね）
マスク
ガウン
シューズカバー

を着用する。

自分の身を守るために、必ず着用しましょう

作業時の服装



ポイント

汚染した手袋の外し方



おう吐物などの処理セット

(ケースにセットされて、保健室に置いてあります)
 (各学部の廊下には消毒薬も入れて、セットしてあります)



マスク



ガウン



手袋



シューズカバー



帽子



ペーパータオル



新聞紙



回収袋(第1・第2)



サットクリーン



ジョキスト



2L専用ボトル(最低でも2本)



次亜パウダー



嘔吐物を瞬時に固めてしまうものです。粉をふりかけるだけです。

布団やカーペット、手すり、ドアノブなどの消毒に使用します。嘔吐物に直接かけないでください。

専用ボトルに水を入れ次亜パウダーを溶かします。(2Lに次亜パウダー1包です)

消毒剤は、ハイターをペットボトルに入れて薄めても良い。(2Lにハイターのキャップ2杯です)

バケツ



回収袋をこの中に広げると良い。

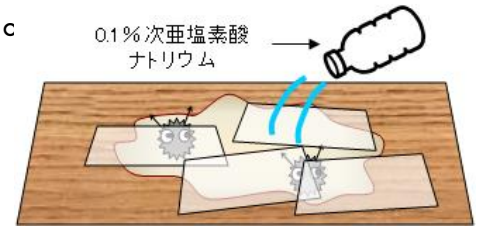
汚物の処理の実際

1 換気・立ち入り禁止

2 汚物の凝固または処理（①か②のどちらかで）

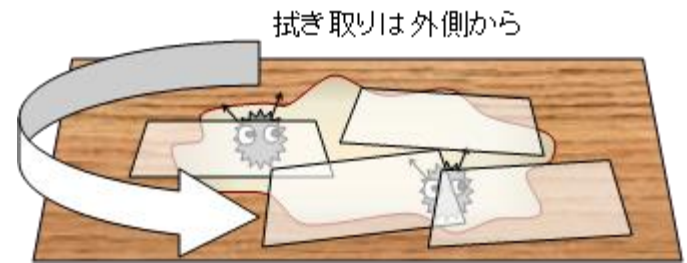
①サットクリーンをふりかけ、2分間放置し、凝固させる。

②汚物がそれ以上広がらないように外側から中心に向かって、ペーパータオルや新聞紙などでおおい、その上から次亜塩素酸ナトリウム液を汚物と同量分、汚物が飛び散らないように静かに注ぐ。その状態で10分間放置。



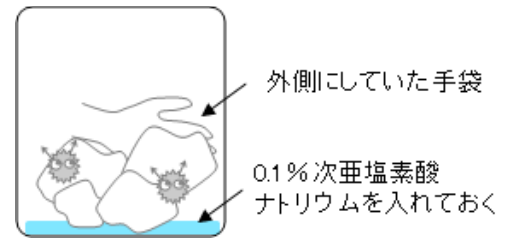
3 汚物の回収

ペーパータオルや新聞紙を使って、汚物の外側から内に向けて、静かに取り除き、一次回収袋に入れる。



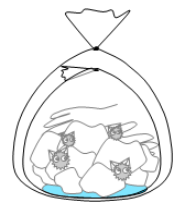
4 使用品と手袋の回収

使用した、ペーパータオル、新聞紙、外側の手袋は一次回収袋に入れる。



5 一次回収物の清浄化

一次回収袋のなかの内容物がまんべんなく濡れる程度に次亜塩素酸ナトリウム液を入れる。一次回収袋を、二次回収袋の中に入れる。



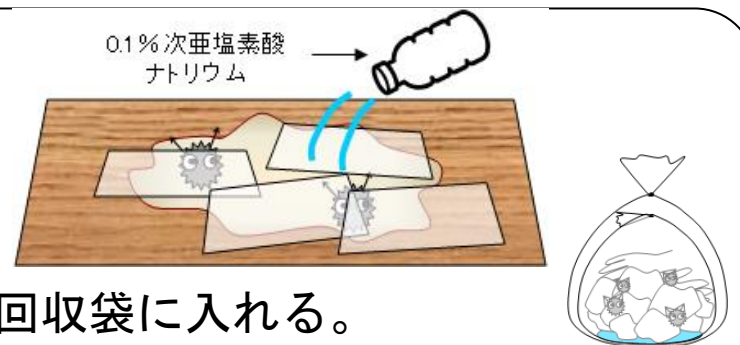
6 もう一度、おう吐した場所を消毒

2の②と3の処理をする。10分間放置。

★この作業が重要！

汚物は、二次回収袋に入れる。

その後は、雑巾で水拭きをし、雑巾も二次回収袋に入れる。



7 感染防止の取り外しと二次回収物の清浄化

シューズカバー→帽子→ガウン→手袋→マスクの順にはずし、二次回収袋に入れ、内容物がまんべんなく濡れる程度に次亜塩素酸ナトリウム液を入れ、口をしっかりしぼる。燃えるゴミとして、ゴミステーションに出す。その時にゴミに「汚れ物」のシールをはっておく。

汚 れ 物

←このシールです。